

自然光がやさしく包む、幸せオーラの家

Builder：トモノ建築設計事務所 Place：佐久市 Family：夫婦、子ども2人

理想の環境で、仕事と子育ての両立を叶えたNさん夫妻。成功の秘訣は、気軽な「お試し移住」でした。まずは四季を体感し、地域や風土を知ること。ご夫妻は、暮らしてみないと見えてこないリアルを経験したことで、堅実にスマートに住まいづくりができたといいます。

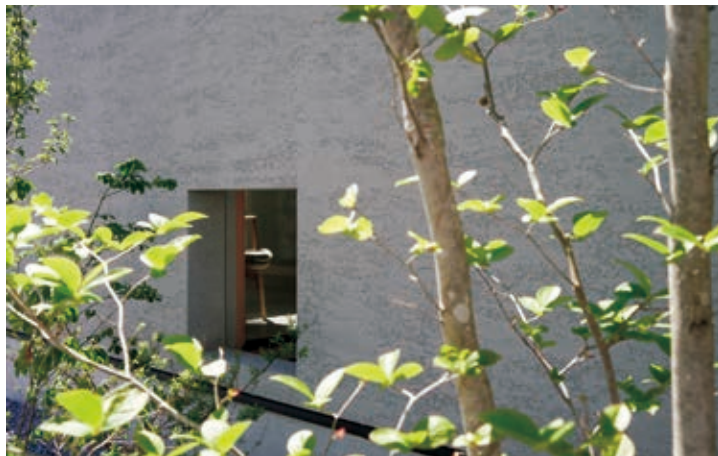


A

B

C | D

A_奥様自慢のキッチンは、カフェを思わせるおしゃれな雰囲気。岐阜県在住の作家によるオーダーメイドで、子どもたちに目が行き届くよう対面式に。窓から差し込む淡い光で素材感も際立つ。 **B_**中庭の外壁。全面を覆ってしまうと「息苦しくなるかも」との考えから、あえて開口部を設けたそう。 **C_**中庭は家族みんなのお気に入り。外壁を配したことでよりプライベート感覚で楽しめる。木の格子から光が差し込み明るいイメージ。 **D_**広い造作机をあつらえたキッチン横のスタディールーム。奥様のリモートワークだけでなく、将来は子どもたちの勉強スペースとして使用する予定。



「とりあえず住んでみよう」
気軽に始まった信州暮らし

東京のIT企業に勤務するNさんご夫妻。この春待望の新居を構え、現在は仕事に子育てに多忙ながらも、穏やかな「信州暮らし」を満喫しています。

生活拠点を移したのは4年前のこと。コロナの流行とマンションの契約更新が重なったタイミングでした。

「長野を選んだ理由の1つは、新幹線の利便性です。リモートワークとはいえ、東京へスムーズにアクセスできる選択肢を残しておきたかったのと、交通費の負担もこの

辺りまではOKでしたから」とご主人。一方、都会での子育てに漠然とした不安を感じていたという奥様。長野県出身ということもあり、進学で地元を離れるまで過ごしていたこの地がいに恵まれていたかを、大人になった今、改めて実感したといいます。「自分もそうだったように、子どもたちにもこの美しい自然が当たり前にある環境で育ってほしい。そんなことを思うようになりました」

当時は夫婦二人暮らし。フットワークも軽く、東信エリアへの引っ越しも「とりあえず住んでみよう」という気軽なものでした。もちろん便利な東京から一転、不便なことや不安もあったといいます。「でもそれ以上





に、こののんびりした空気感が本当に心地よくて」とご主人。スタートは賃貸物件での生活でしたが、地域にすっかり魅了されたというご夫妻。定住を決意し、住まいづくりが始まりました。

賃貸で厳しい寒さを痛感。 高性能の家が子育ての味方に

ご夫妻は当初、家を建てるなら住宅メーカーにお願いしようと考えていました。それは全国で名が知られる大手であれば「安心してお任せできるはず」という期待があった

のこと。しかし数社とコンタクトを重ねるうちに、実情が見えてきたといいます。「提案されるプランやモデルルームを見ても、フォーマットありきで今一つというか……。結局どこにも心惹かれなかったんですよ」と話します。

そこで視点を変えて、ビルダー探しを再スタート。辿り着いたのが、地元で多数の建築実績を誇るトモノ建築設計事務所でした。実はデザインへの強いこだわりをもつお二人。事務所を訪れて話をするうちに、「ここなら自分たちの夢が実現できるかも」と初めて手応えを感じたといいます。その後、同社が手がけた家へと足を運んだご夫

E F	H
	I
G	J K

E お気に入りの食器や雑貨が並ぶキッチンの造作棚。家電はブラックで統一し、あえて見せる配置に。こまごましたものは奥のパントリーにまとめて収納されている。 **F** リビングとひと続きとは思えないほどの、静寂感に包まれたカフェコーナー。白壁や床のタイルが空間にメリハリをもたらしている。 **G** 家具やインテリアはもちろん、部屋全体のバランスを考え色味など細部にまでこだわったというリビング。まとまりがありスっきりとした印象。 **H・I** カーテンのないN邸には、窓からの明かりが様々な角度で差し込んでいる。緑の陰や光と影のコントラストも美しい。新居で暮らすようになり、日差しが時間や季節によって変化するさまが楽しいと奥様。さりげない自然の営みが新鮮なのとか。 **I** タモの無垢材であつらえた棚。収納目的ではなく飾り棚として利用している。 **K** 2階の子供部屋。現在はご主人がリモートワークで使用。

妻。その「自由度」の高い住まいを目の当たりにし、期待が確信へと変わりました。

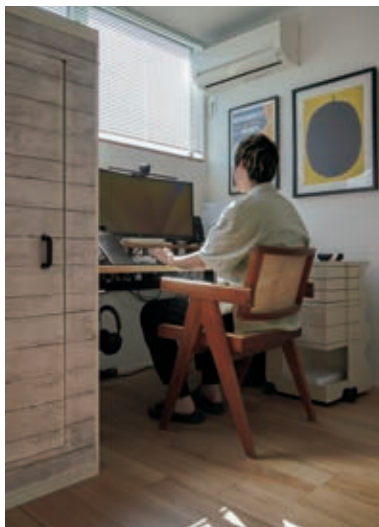
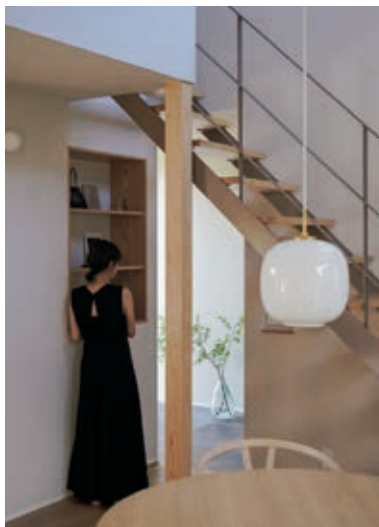
さらに頼もしく感じられたのが、その徹底した機能性への取り組みです。同社にとっては標準となる高気密・高断熱の住まい。それが暮らしの根底に関わることを、ご夫妻は4年間の賃貸生活で痛感していました。「家の中が外よりも寒いんですよ。長男が幼かった頃は、心配でリビングから出すことができなかったほどです。体に悪い寒さって本当にあるんだと思い知らされました」とご主人。「おかげで迷うことなく、トモノさん一択でした」と奥様も笑います。それは冬の寒さや夏の暑さ、信州の風土気候や厳しい自然環境に適応した“憂いのない”住まい。子育てに励む夫妻にとって心強い存在となりました。

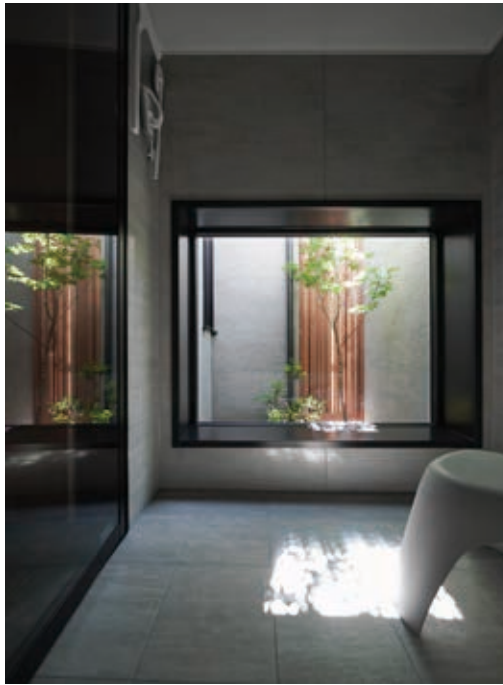
暮らしやすさに直結する 賢い立地選び

振り返って思うのは、自分たちの選択がことごとく正解だったということ。思い描いていたとおり、カフェさながらのおしゃれな空間は、見た目だけでなく居心地も最高だと口を揃えます。

また住宅街という立地も想定外だったものの、選んでよかったとご満悦の様子です。奥様によると、最初は周囲に何も無い緑に囲まれた暮らしを希望していたとか。ですが、仕事も子育てもこれから、という現役世代のご夫妻。あまり辺鄙な地での生活は現実的ではありません。結局決めたのは、駅や学校に近く、家族にとって通勤・通学のしやすい現在の場所でした。

実際、週に1〜2日ほど東京へ出勤するというご主人は、「駅までのアクセスはいいし、新幹線もほぼ座ることができて通勤はとても快適。むしろ往復がそのまま自分の





L | M
N | O

P

Q | R

L_木漏れ日が入る家に憧れていたご夫妻。中庭には屋根を設けず、吹き抜けに。青空が広がり清々しい。 M_ここでお茶や食事を楽しむためにと、広いテラスをリクエスト。石畳も風情があり落ち着く。 N_浴室に面した坪庭。窓を低めにしたことで、お湯に浸かりながら露天風呂気分が楽しめる。 O_洗面所は和モダンテイスト。天井に配したホルーパーや間接照明で浮かび上がる障子など、高級旅館の趣が漂う。 P_デザインや間取りなど、家のどこにいても素敵だと思える自慢のマイホーム。「夢が叶ったのもトモノさんの柔軟さのおかげです」とご夫妻。 Q_青空に映えるスタイリッシュな外観。外壁の塗料には質感を重視しベルアートをリクエスト。外構には30種類を超える樹木が植えられている。 R_このエリアは雰囲気がよく子育て向きだとか。「これからはコミュニティの担い手として、私たちも地域に恩返しをしていけたら」とご主人。



時間として確保できるのもありがたくて」と笑顔を見せます。車内では本を読んだり仕事をしたり、時には仮眠をとって体を休めることも。在来線で通勤していた頃に比べて断然楽になったといいます。

移住により手に入れたワークライフバランスの取れた理想の暮らし。それは「家族で過ごす時間を大切にしたい」と願うご夫妻に

とって、この上ない喜びとなりました。家を見渡せばどこにいてもグリーンに癒され、細部にまでこだわったデザインも心に潤いをもたらしてくれます。「ようやく生活が落ち着いたので、これからは登山やキャンプなどアウトドアを趣味にして自然をもっと感じていきたい」と意気込むご主人。N家の信州暮らしはこれからが本番です。



OWNER Nさん

POINT 1 信州に暮らしてよかったこと

時間の流れが穏やかに感じられるところ。せわしくないので、いつもゆったりした気分です。

POINT 2 家づくりでよかったこと

信州ならではの土地の広さです。同じ通勤時間圏内でも、都内はもちろん東京近郊でもおそらくこれほど大きな家は建てられなかったと思います。

POINT 3 先輩としてのアドバイス

とりえず住んでみる。机上の空論じゃないけど、考えてみても分からないと思うので。やっぱり一度は生活してみるのが大切です。

トモノ建築設計事務所 <https://tomono-inc.jp>
佐久平スタジオ／佐久市岩村田1290-7-1F 0267-88-7350
東京スタジオ／東京都台東区浅草橋3-5-8-2F 03-5829-6030
佐久穂スタジオ／南佐久郡佐久穂町大字海瀬355 0267-86-4346